

令和２年度土地家屋調査士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の土地家屋調査士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

○ 午前部

【第１１問】

- 問１ 夾角及び距離から座標値を求める計算の基本的知識
- 問２ ２直線の交点の座標値を求める計算の基本的知識
- 問３ ２直線の夾角を求める計算の基本的知識
- 問４ 座標法による面積計算の基本的知識
- 問５ 図面の正確な作成

○ 午後部

【第２１問】

- 問１ 問題文に記載された事実関係及び資料に基づき、既知点の任意座標値と公共基準点を用いた観測結果の座標値の比較によりＢ点の座標値を算出し、並びに分割すべき土地の面積を計算し、これを参照してＧ点及びＨ点の座標値を算出することを求めるもの
- 問２ 問題文に記載された事実関係及び資料から、土地分合筆の登記を申請すべきことを読み取った上で、所有権の登記名義人が死亡している場合における申請適格者並びに申請情報及び添付情報の内容についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの
- 問３ 登記識別情報の制度内容及び表示に関する登記の申請において登記識別情報の提供が求められる場合についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの
- 問４ 問題文に記載された事実関係及び資料から、問２の登記の申請書に添付する地積測量図の正確な作成（図形の正確な描画を含む。）を求めるもの

【第２２問】

- 問１ 問題文に記載された事実関係及び資料から、滅失した建物を特定し、当該建物について建物滅失の登記を申請すべきことを読み取った上で、申請情報及び添付情報の内容についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問 2 建物が解体移転又はえい行移転された場合のそれぞれについて、表示に関する登記の取扱い及び登記の申請義務の有無についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問 3 問題文に記載された事実関係及び資料から、建物の表題登記を申請すべきことを読み取った上で、建物の所在、種類、構造及び床面積の内容並びに増築部分の取扱いを含めた申請情報及び添付情報の内容についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問 4 問題文に記載された事実関係及び資料から、問 3 の登記の申請書に添付する建物図面及び各階平面図の正確な作成（図形の正確な描画を含む。）を求めるもの

※【第 2 1 問】及び【第 2 2 問】のうち、登記の申請書、地積測量図、建物図面及び各階平面図を完成させることを求める問いについては、問題文に記載されているとおり、不動産登記規則第 4 5 条の規定に基づき、答案用紙の該当欄に記載する文字は、字画を明確にしなければならず、訂正又は削除をした文字は、なお読むことができるようにしておかなければならない